

3-2. マルチラレーション



区分	領域	技術設備
	テーマ	航空機運航の効率化

製品概要

- 空港面の航空機の位置を監視する二次レーダシステム。夜間・悪天候時など、管制塔からの視界が悪い状況でも航空機の位置を正確に把握することができ、安全かつ効率的な航空管制を行う事が可能
- また、管制用途だけでなく、着陸料、停留料の課金管理、空港周辺を監視するSSRとしても応用することが可能
- JRCのMLATは世界最高水準の測位精度を実現。実際の空港での評価において、滑走路で12m以下（ED-117A）の測位精度誤差基準のところ、3mの測位精度誤差を達成

特徴

- 少ない受信局で高い測位精度を得られる
- 屋外に電源やLANケーブルがないため、雷や台風、水害による被害も低減することが可能
- 空港周辺30NMまでの航空機の監視も可能
- 以下のインターフェイスに準拠しているため、A-SMGCSなどの既存のシステムにも容易に組み込むことが可能。
 - Video Data : ASTERIX 10
 - Control / Monitor : SNMP
 - Expansion : ADS-B

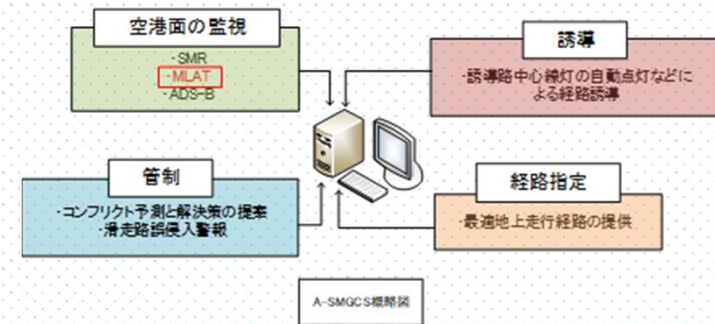
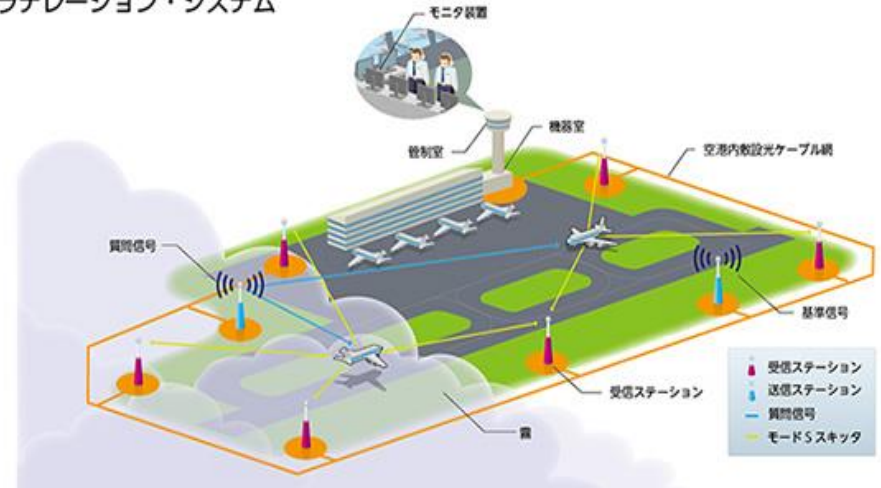
適用場所

- 航空局・航空管制プロバイダー
- 空港 等

導入実績

- 国内空港:福岡空港
- 海外空港:フーコック国際空港 (ベトナム)

マルチラレーション・システム



連絡先

日本無線株式会社
 TEL: (03) 6832-0155
 URL: <https://www.jrc.co.jp>

